

轟 と ど ろ

平成22年3月26日

3月号

感動の卒業式を挙行



24日(水)の午前10時から第59回卒業証書授与式を開催しました。本校の卒業式には、地域にお住まいの方々も多数参列いただきます。会場へ来賓が案内されると、式に先立って卒業する4人の成長の姿を披露する写真が一人ひとり大型スクリーンに投写されました。幼かった頃から現在に至るまでの様子が手に取るように分かりました。9時55分になると会場は、一変して重々しい厳粛な雰囲気となり、主役である卒業生の堂々の入場です。メインである卒業証書授与では、連続ではなく一人ずつ呼名を受け起立・登壇・授与・降壇・着席まで主役の場面が保証されました。卒業生からは、在校生や先生方そして地域の方々にお礼とメッセージを述べました。最後にご両親への感謝の心を一人ひとりが述べる頃になると感動の涙も最高潮となりました。

「お母さん！私が生後9ヶ月の時、軽トラックから落ちて頭を打ったことがあったそうですね。お母さんは、とてもびっくりして病院にすぐ連れて行ってくれたそうですね。詳しく調べてみたら頭の骨にひびが入っていて、家族みんなが頭に異常はないか、他に骨は折れていないかととても心配してくれたそうです。心配掛けてごめんなさい。いつもいつも私のことを温かく見守ってくれたお父さんやお母さん、そして家族みんなのお陰で、それ以来大きなけがや病気をせず成長できました。今まで本当にありがとうございました。」これは恵美さんのメッセージです。このように卒業生の心のこもった感謝の気持ちは素直で心を打つものばかりでした。在校生も最高の卒業式にしようと必死に頑張ってくれました。

校長コラム

自慢の6年生4人が24日に卒業しました。11人が在籍し4人が卒業した後は来年度の1年生はいませんので寂しくなります。しかし別れは出会いの始まりです。卒業生4人は、泉中学校に進学して沢山の友達を作ることでしょう。卒業式の時に卒業生へ「流した良い涙は決して裏切らない。」という言葉を送りました。涙は、さんずいに「戻」と書きます。一生懸命頑張って流した良い涙の数だけ幸せが戻ってくることを伝えました。自分を信じて、自分を高める努力をして欲しいという願いを伝えました。勉強で悩むでしょうし、新しい友達関係も出てきます。教科担任制の授業でいろんな先生の教えを受けます。夜には寮生活を送ることになるので家族とも離れて寂しくなります。これから先、たくさんの苦難の山が立ち上がるでしょう。山が高ければ高いほど、その喜びは大きいものです。逃げないでいっぱい良い涙を流してくれることを願っています。マイナス思考では何一つ解決できない、プラス思考が自分に勇気を与え、何倍もの力を発揮させる原動力になることをいつも意識しながら、中学校生活をエンジョイして欲しいと願っています。

伝説の佐倉宗吾を知っていますか？

4日(木) 佐倉荘の緒方勢一さんに佐倉宗吾のことにについて大型スクリーンでの映像を交えてお話をしていただきました。全国で農民の神様として誰もが知っている佐倉宗吾のことにについて詳しい説明を聞いた後、その佐倉宗吾が五家荘の葉木出身であること、そして勢一さんや佐倉荘との関係などについても分かりやすくお話をしていただきました。五家荘に住む大人の人でさえ、あまり知られていなかったようで、子ども達は郷土の偉人の話を聞いて、また一つ五家荘の自慢が増えました。本校では子ども達に故郷・五家荘を知って関わって体験して、後生につなげることができる大人をめざして教育活動を展開しています。地域のみなさまのご協力をよろしくお願いします。



卒業祈念を制作

6年生は、心に残る卒業記念作品を作ろうと卒業式練習と併行して頑張りました。作品は色づけした小さな木片一つ一つを合わせたモザイクで、一番大切にしてきた「友」に虹を架けた夢のある作品となりました。



6年生を送る会を在校生が開催

4日に在校生が計画した「6年生を送る会」が開催されました。感謝の気持ちを込めた作文発表やゲームそしてソフトバレーボールなどでとても楽しいひとときを一緒に過ごしました。

